

記 者 提 供 資 料
平成 30 年 (2018 年) 3 月 14 日
福 祉 政 策 室 福 祉 総 務 課 T E L : 9 1 8 - 5 0 2 5 (菅野 : 2253、浮田 : 2218)

## 視覚障害のある方を対象とした防災訓練の実施について

### 1 目 的

視覚障害者と健常者（支援者）が一緒にいる状況で、災害発生時に必要となる「身を守る行動」「避難」「コミュニケーション」等について、参加者自身が考え実践することで、それらの習得を目指し、それぞれの防災力の向上を図る。

### 2 訓練日時

平成 30 年 3 月 17 日（土） 午前 10 時 15 分から 12 時 00 分まで

※雨天決行、気象警報発表時は中止

### 3 場 所

市立総合福祉センター（明石市貴崎 1 丁目 5 - 13）

### 4 参加者

視覚障害者、ガイドヘルパー、民生児童委員、学生ボランティア、市職員

### 5 訓練概要

貸館施設の会議室を利用して視覚障害者も参加する会議が行われていたところ、南海トラフを震源とする地震が発生し、明石市でも震度 6 強の大きな揺れを観測したため、その場に居合わせた一般の人たちの手助けを受けながら一緒に避難するという想定のもと、以下の流れで実施予定。

- (1) 会議室（大会議室）にて地震による揺れを感じ、身の安全を確保する行動を取る
- (2) 揺れが収まった後、けが人の有無等参加者どうしで安否の確認を行い、安全に留意しながら一次避難場所（北側駐車場）へ避難する
- (3) 一時避難完了後点呼による安否確認を行い、その後避難所（社会適応訓練室）に向けて避難する
- (4) 避難所で受付を行い、避難者名簿を作成する（支援者役等が聞き取って記入する）
- (5) 避難訓練の振り返り及び防災研修を行う

※ (1)～(4)については、ガイドヘルパーによる同行援護だけではなく、一般人（支援者役の学生ボランティア、民生児童委員）による安否確認、避難誘導など、実際の災害を意識した内容とする。